

谷中小学校 教育目標

○よく考えくふうする子 ◎**明るく健康な子(今年度重点目標)** ○思いやりをもち人の役に立つ子

〈研究主題〉明るく健康な児童の育成

〈目指す児童像〉

【身体的】

- ・体育の時間や休み時間などに、元気に体を動かすことができる
- ・コツをつかんで、体を動かすことができる
- ・体力の向上
- ・元気に挨拶ができる
- ・正しい姿勢で座ることができる
- ・早寝早起きができる
- ・正しい食生活

【精神的】

- ・前向きに行動できる
- ・友達に前向きな声をかけることができる
- ・自分の言動に自信がもてる
- ・アンガーマネジメントができる
- ・自他の得意不得意を認めることができる

【社会的】

- ・自己有用感がある
- ・自分の役割がある
- ・人の役に立ち、認められる
- ・人のことを、認めることができる

それぞれに、資質・能力の3つの柱である

【知識及び技能】

【思考力・判断力・表現力等】

【学びに向かう力・人間性等】

が関わってくる

【研究の視点(1)分かる授業】

- ・児童が分かりやすく知識を習得できる
- ・ICT等の活用で、学習の流れが自分で分かり、進んで活動できる
- ・学習過程の工夫で活動が分かる

【研究の視点(2)できる授業】

- ・スモールステップで技能を習得できる
- ・友達のよい動きや、友達や教員のアドバイスから、できるようになる
- ・技能のポイントを自分で納得してできるようになる

【研究の視点(3)関わる授業】

- ・友達と励まし合いながら活動する
- ・友達のようなごきを見付ける
- ・明るく励まし合いながら学習する
- ・自分の役割を果たし、友達と協力して学習する

〈研究の仮説〉

教師が分かる・できる・関わる授業を工夫することで、児童は安心して主体的かつ協働的に学習に取り組むことができ、結果、自信をもったり、友達と認め励まし合ったりするなど、明るく健康な児童の育成につながるだろう。

〈研究領域〉年6回(各学年1回)

保健領域(2回)・運動領域(4回)

成果と課題・他教科の指導への応用・学校評価